

今後の進め方について

検討の方向性

- 航空会社の60歳以上の操縦士に対する付加検査
 - 国際標準を踏まえ、また、我が国における60歳以上の操縦士に対する検査結果等を踏まえながら、付加検査が対象となる年齢について見直しを行ってはどうか。
 - その際、操縦士の健康維持において若年時からの日常的な健康管理の有効性も踏まえながら、検討を行ってはどうか。
- 新たな形態の航空機(空飛ぶクルマ)に乗務する60歳以上の操縦士
 - 今後の利用拡大を見据え、操縦士の健康状態を適切に確保するため、乗務する60歳以上の操縦士に対し付加検査を行う等の方策を講じることについて検討してはどうか。
- 指定検査機関及び指定検査医の確保
 - 指定取得の際に必要な講習会の充実など、指定を受けやすい方策について、検討を行ってはどうか。
- 日常的な健康管理の拡充
 - パイロット・ピアサポートの導入拡大や日常的な健康管理の拡充について、付加検査の見直しも踏まえながら、検討してはどうか。

4月頃： 第2回検討会

5月頃： 第3回検討会(論点整理)

6月頃： 第4回検討会(中間取りまとめ案)